

4. 新たに作製した胎盤蛋白 PP19 モノクローナル抗体の応用

—免疫組織染色及び酵素抗体濃度測定—
(産婦人科学) 鈴木 良知, 弓立 環,
永田 順子, 舟山 仁, 鈴木 康伸,
井坂 恵一, 高山 雅臣

胎盤より抽出された胎盤蛋白 PP19 に対するモノクローナル抗体を作製し, その免疫組織学的検索と, ELISA の開発による種々体液中の PP19 濃度測定を行った。モノクローナル抗体の作製は Köhler and Milstein の方法により行い, スクリーニングはハイブリドーマ上清を¹²⁵I 標識 PP19 と反応させ, 放射活性測定により行った。ELISA は, 第一抗体として抗 PP19 ポリクローナル抗体, 第二抗体としてモノクローナル抗体(培養上清1:1)を用いた。作製したモノクローナル抗体は IgG1 であった。SDSPAGE 後の Immuno blotting により, 本抗体の認識する PP19 は分子量36000の4量体であることが確認された。免疫染色にて, PP19 は絨毛上皮細胞及び hCG に染色されない絨毛癌細胞に局在を認めた。妊婦血清 PP19 値は妊娠8週頃より上昇し, 妊娠40週には平均 45.6ng/ml に達した。羊水, 胎盤後血, 胎状奇胎嚢胞液及び精漿中に高濃度の PP19 が存在した。また DIC 症例において, PP19 が高値を示す傾向を示した。

5. 深部静脈血栓症における血液凝固学的変動の検討

(外科学第二) 矢尾 善英, 東 理佐子,
清水 宏一, 首藤 裕, 小長井直樹,
石丸 新, 古川 欽一

急性下肢深部静脈血栓症に対し, 血栓溶解剤を投与し, その効果を血液凝固学的変動より検討した。対象は下肢深部静脈血栓症の12例で, 発症後1~10日で治療を開始している。急性期の自覚症状の改善に関しては血栓溶解剤の投与量と点滴終了時の α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体の増加と関係が深く, 静脈造影所見の改善に関しては血栓溶解剤投与量と点滴終了時の D-ダイマーの増加と関係が深く, 遠隔期の自覚症状の改善に関しては血栓溶解剤投与量, 治療前の D-ダイマー, 点滴終了時の α_2 PIC, D-ダイマーの増加と関係することが判明した。血液凝固学的検索を行うことで, より適切な治療法の選択が可能となると考える。

6. 新しいフィブリノーゲン・フィブリン分解産物測定法による一次線溶と二次線溶の鑑別(臨床病理学) 磯貝直史, 植田基生, 田中朝志, 山元泰之, 緋田和子, 新井盛夫, 依藤 寿, 福武勝幸, 藤巻道男

【目的】 新しく開発された FbDP, FgDP, TDP 測定法を用いて, 諸疾患の一次線溶, 二次線溶, TOTAL の線溶を求め, 線溶状態を解析した。

【方法】 上記3測定法は, E分面の B β 鎖の54-118に対するモノクローナル抗体を capture 抗体とし(3キット共通), tag 抗体として FbDP では D-ダイマーと特異的に反応するモノクローナル抗体を, FgDP はフィブリノペプチド A に対するモノクローナル抗体を, TDP では, これら2者の抗体を混合したものを用いた sandwich ELISA である。

【結果】 大動脈瘤および DIC では, どちらも二次線溶優位の FDP 上昇がみられたが, 一次線溶の発現は, 大動脈瘤の方が有意に高かった。

FgDP/FbDP 比は DIC の改善とともに上昇し, 治療効果判定の指標の一つとなりうることが示唆された。UK 大量投与例では, フィブリノーゲンの分解が顕著で, この際 FbDP+FgDP と TDP は大きく解離し, TDP>FbDP+FgDP という特徴がみられた。

7. 双胎分娩後 DIC を発症した1例

(産婦人科学) 柳下 正人, 武市 信,
弓立 環, 中谷 仁, 平田 貴夫,
岡部 一裕, 吉田 啓治

分娩時出血の止血にとって, 最も重要な機構は子宮の収縮であり, 次に重要なものは正しい血液凝固性である。この生体の巧妙な機構により, 分娩時出血は通常 300~500g 以内にとどまる。しかし妊娠中又は分娩時の種々の異常の発生により, 出血量は増加し, 時に大出血となり DIC を発症することがある。今回, 双胎分娩時の大量後産期出血により, 急激に DIC にいたった一例を示した。

産科 DIC の特徴としては, 妊娠後半期に好発し, 大出血に続発することが多く, そして急激に発症することが, 他科領域に多く見られる慢性に経過する DIC との違いであろう。ゆえに産後出血量が増加してきた場合は常に DIC とその基礎疾患を念頭において, 早期に適確な診断と対策を考える必要があることを, 本症例で再考させられた。